

ふくい健康の森
県民健康センター(1/2)

豊かな自然のなかで
楽しみながら健康づくり



所在地	丹生郡清水町真栗47-48		
設置年月日	平成6年7月1日		
施設の種類	健康増進・健康診査施設	施設管理主体	(財)福井県健康管理協会
設置の目的	健康で生きがいのある県民生活の確保に資する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階、延7,306.67㎡ 事務室、業務室、身体測定室、運動指導室、各検診室、栄養教室、研修室、会議室等		
職員数	職員26人		

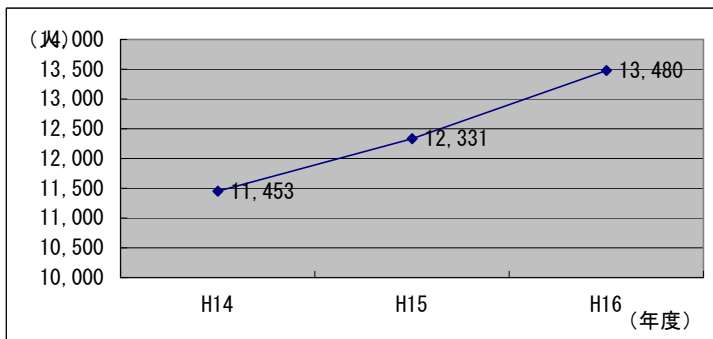
利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	11,453	12,331	13,480

利用者負担(利用料金)等

利用料金	健康診査	各種
	会議室	各種

※利用料金は、(財)福井県健康管理協会のHPを参照してください。

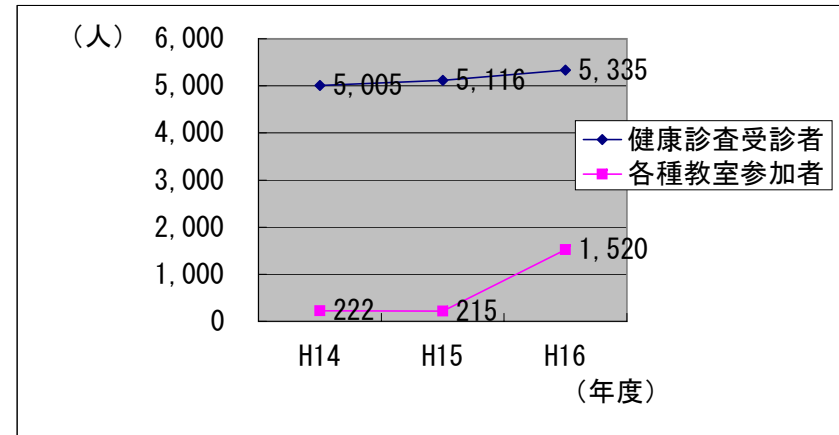


16年度の特徴について

事業実績	<p>設置目的達成のために実施している経常的な業務および主催事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師、管理栄養士、保健師、健康運動指導士等が来館者や電話による相談に応じ、効果的な健康づくりの取組み等を支援しました。 ・生活習慣病をチェックする総合的な健康診査や動脈硬化度・骨密度の測定など、県民のニーズに応じた健康診査を提供しました。 受診者数 5,335人(対前年比 104.3%) ・禁煙教室、クッキング教室、骨密度アップ教室などの教室を開催し、健康づくりに向けた県民の取組みを支援しました。 参加者 1,520人(対前年比 707.0%) ・運動障害のための運動機能回復メニューを作成し、機能回復訓練の相談を受けたり、リハビリ教室や機能回復訓練講習会の開催、市町村への派遣事業を実施しました。 参加者 6,581人(対前年比 96.8%)
------	--



健康診査および健康教室の利用状況



利用状況の推移	<p>平成6年7月の開館以来、健康診査の利用状況については、平成7年度が3,399人であったのに対し、平成14年度に初めて5,005人と5千人台になり、16年度は5,335人と徐々に伸びてきています。また、各種健康教室については、平成16年度から利用促進に向けた取組みの一環として、新たな教室を新設して、利用者の増を図っています。(15年度 215人→16年度 1,520人)</p>
---------	--

県民健康センター



ふくい健康の森 県民健康センター(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%
	計	0	0.0%
物にかかるコスト	物件費	326,129	57.5%
	維持補修費	5,607	1.0%
	減価償却費	164,220	29.0%
	計	495,956	87.5%
その他	公債費(利子)	71,097	12.5%
	その他	0	0.0%
	計	71,097	12.5%
合計		567,053	100.0%

(単位 千円)

収入	利用料等収入	148,101	26.1%
	その他収入	1,275	0.2%
	一般財源	417,677	73.7%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	2,332,849	固定負債	1,029,137
投資等	0	流動負債	262,727
流動資産	0	正味資産	1,040,985
計	2,332,849	計	2,332,849

県民健康センター



施設の特徴

緑豊かな自然の中で、県民の健康づくりの拠点としての役割を果たしています。

受診者のニーズに応じた健康診査のメニューの提供により、年間5,000人を超える県民に健康診査を実施し、生活習慣病の早期発見、早期治療に寄与しています。

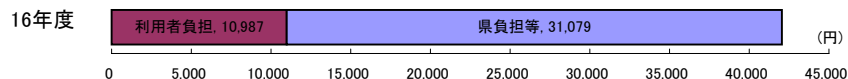
医師や栄養士等の専門職員が健康づくりに関する相談に無料で応じるとともに、早朝ウォーキング教室、禁煙教室、機能回復訓練講習会など健康づくりに関する各種教室などを開催し、利用者の体力や健康状態に応じた健康づくりに寄与しています。

今後の課題

平成6年度の開館以来、毎年約1万3千人に利用されています。

今後、健康の森内の他施設と連携を密にし、利用者の増や経費の縮減など、より効率的な管理運営を図る必要があります。

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

(財)福井県健康管理協会への管理委託を行っているため、県の委託料として全て物件費に計上しています。

有形固定資産のうち、建物が2,073千円と89%を占めています。その他は、検査・医療機器が大半(10.8%)を占めます。

利用料等収入は、健康診査に係る検査料および健康教室受講料の収入です。

※なお、当施設は今回初めて調査・作成しましたので、前年度比較はしていません。

今後の事業方針

近接する生きがい交流センターやけんこうスポーツセンターの施設および機能を最大限に活用し、その効果的な連携や共同事業を行うことにより、より一層の利用促進と経費縮減を図ります。

取組み内容

今後もより多くの方に利用していただけるよう、県民ニーズを的確に捉えた事業を企画実施していきます。

平成17年度から早朝ウォーキング教室、減量体験教室、骨密度アップ教室、女性の健康づくり教室等を新設し、利用者の増加を図っています。

県民健康センターを活用した健康長寿に関するイベントを開催し、地域住民に施設のPRを行っています。

健康の森の他の施設と一体として、指定管理者制度への移行を行うことにより、より効果的で効率的な管理運営を行っていきます。